



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取り組みです。

2024 年は、8 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。

今回は、4 月 6 日（土）から「東北芸術工科大学卒業生二人展」 正村公宏、松尾正樹 計 2 名の展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『青と緑は水切りを』 ～第 25 回大学日本画展 <東北芸術工科大学 卒業生二人展 正村公宏×松尾昌樹>～
会期	2024 年月 4 月 6 日(土)～4 月 21 日(日) 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17：00 まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3－1－6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	正村公宏（まさむら きみひろ） 松尾昌樹（まつお まさき）
展覧会内容	本展は、関東出身でともに山形県で美術を学び、そして現在は神奈川県で活動する正村公宏、松尾昌樹の 2 人による展示です。旧作に加えて本展示に合わせ制作されたものを含めた作品群をご紹介します。 水切りとは、水面に向かって回転をかけた石を投げ、石を水の上で跳ねさせる遊びです。 タイトルの「青と緑は水切りを」は、2 人の作家それぞれが自分の作品、テーマ、個人的なイメージなどから自分を色に例えています。青と緑、2 つの色は単に混じり合うものではありません。正村は不在と記憶、松尾は行為と反応というテーマがあり、それらのテーマは石のように水の上を跳ね、水面をゆらし呼応し合うことでしょう。 会場では作家 2 人が作品を通して水切りする様子をご覧ください。また、皆さまが同じように河原で水切りをするような何気ない感覚で作品と向き合う場になれば幸いです。 ＊150 号以上の作品 4 点 100 号以上 2 点 その他 100 号未満の作品 20 点前後展示予定
主催	東北芸術工科大学
企画	UNPEL GALLERY
協賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

松尾 昌樹 Matsuo Masaki

東京出身

2022 東北芸術工科大学芸術学部美術学科日本画専攻卒業

2023 TEETRAGON~EXHIBITION~(福岡三越ギャラリーVI)
みちのく現場考展-東北描き巡り、芸術想ヒ巡り- (小津和紙ギャラリー)
『アマダレ 2023』群馬県 画廊翠巒

【賞歴】

2021 東北芸術工科大学卒業制作展 優秀賞

【コメント】

私は自然の現象とその体感を基に作品を制作しています。

川の水は地形や土壌の性質に応じて、その場ならではのリズムで流れてきています。

環境、物質の特性、それらの相互作用が作り出すものには共通する言語があるように感じています。

私は作品を作る際に線を集積させる手法を用いこの行為により自然言語と触れる感覚を得ています。画面上の線には体感した言語が現れ、支持体やメディウムは川という土壌や水となります。そのような制作の中で自然の中に存在する言語との対話、再構築を試みています。



「lines」

2022 年制作 530×455
和紙、岩絵具、墨

正村 公宏 Masamura Kimihiro

東京出身

2020 東北芸術工科大学美術科日本画専攻卒業

2023 東北芸術工科大学大学院修了

2019 『最上川〜ここから始まる山形〜』山形県 山形美術館
『棚倉アートフェスティバル』福島県棚倉町
『KOWAII 展』東京都銀座 新井画廊

2020 『簡単なライフワーク』広島県 ギャラリー・カフェ & バー ULTRA
『オルタナティブスペース heso プレオープン展』山形県 オルタナティブスペース heso 2021

2021 『山月の會 - 春耀花影 - 東北芸術工科大学日本画金子研究室展』
東京都 九段耀画廊 2021
『BEAM 展』東京都 丸善丸の内本店 4 階ギャラリー

2022 『Hello2022 新人歓迎展』大阪府 SUNABA ギャラリー
『Emerging Painter's Show- Summer 22 -』
東京 アーツ千代田 3331 myheirloom

2023 『etoototo』東京都渋谷 +ART GALLERY
『アマダレ 2023』群馬県 画廊翠巒
『未視感-Jamais vu-』個展 東京都銀座 YYARTS
『シブヤスタイル』東京都渋谷 西武渋谷店美術画廊
『たいせつなもの展-HERO-』東京都銀座 靖山画廊

【賞歴】

2020 東北芸術工科大学卒業制作展 優秀賞

【コメント】

昔よく訪れた場所に久しぶりに足を運んだら、当時の情景を思い浮かべられるでしょう。我々是不鮮明ながらも確かに存在する記憶に、今を重ね合わせます。そこには望郷の想いや、人の成長、メメントモリなど、多くのメッセージを想起するのです。私は、時の経過がもたらす様々なイメージを、作品を通して鑑賞者に届けることを目的としています。



「Jamais vu / Ghost」

2023 制作 730×500
八女紙、Cyanotype